



国立研究開発法人 土木研究所  
寒地土木研究所

令和5年7月18日  
寒地土木研究所企画室

報道機関各位

「寒地土木研究所 新技術説明会（金沢）」を開催

「寒地土木研究所 新技術説明会」は、寒地土木研究所が研究開発した適用効果の高い新技術について、北海道外の積雪寒冷地域の公共工事等に携わる幅広い技術者を対象に技術内容を説明し、現場への普及を図ることを目的として、平成29年度より開催しております。

今年度は、石川県金沢市で開催し、6件の技術説明を行います。

- 開催日：令和5年8月31日（木）13：15～16：30
- 場所：石川県地場産業振興センター 新館1階 コンベンションホール  
(石川県金沢市鞍月2丁目1番地)
- 主催：国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所
- 後援：国土交通省北陸地方整備局
- 講演プログラム（各講演25分）
  - 13:15～ 開会挨拶（5分）
  - 13:20～ 写真計測技術を活用した斜面点検手法
  - 13:45～ 施工性と安全性に優れた切土のり面の凍上対策（ワンパック断熱フトン箆）
  - 14:10～ 酸性硫酸塩土壌の簡易判定法
  - 14:35～ 質疑応答（15分）
  - 15:00～ 除雪オペレータ用道路付属物位置情報提供アプリ
  - 15:25～ 景観検討にどう取り組むかー景観予測・評価の手順と手法ー
  - 15:50～ コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル 2022年版
  - 16:15～ 質疑応答（15分）
- 参加申込期限 令和5年8月25日（金）まで  
※下記の土木研究所寒地土木研究所ホームページよりお願いいたします。  
<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>  
※参加費：無料  
※建設コンサルタンツ協会CPD認定プログラム  
※全国土木施工管理技士会連合会CPDS認定プログラム  
※体調の悪い方は来場をお控えください。

<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	<input type="checkbox"/> 非公開
取材ご希望の方は、下記まで御連絡ください。（直接会場にお越しいただいても結構です。）		

問い合わせ先				
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所				
寒地技術推進室	室長	ふじたに のぶお 藤谷 伸夫	TEL：011-590-4047(直通)	730(内線)
	主任研究員	みなはし まこと 舟橋 誠		732(内線)



国立研究開発法人土木研究所  
寒地土木研究所

金沢

# 新技術説明会

開催日時

2023年8月31日(木)  
13:15~16:30 (受付開始12:15)

JCCA

CPD単位:3.00  
202307040007  
建設コンサルタンツ協会  
CPD認定プログラム

CPDS  
818215  
3unit

会場

石川県地場産業振興センター  
新館1階 コンベンションホール  
(石川県金沢市鞍月2丁目1番地)

(写真: 鼓門)

積雪寒冷地の最新土木技術を紹介

## 寒地土木研究所イベント情報

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

お申込は  
こちらから



〈交通アクセス〉

バス: JR金沢駅金沢港口(西口)より約20分  
金沢駅西口6番乗り場  
「工業試験場」又は「金沢西高校」下車

〈問い合わせ先〉 寒地土木研究所寒地技術推進室 TEL: 011-590-4046

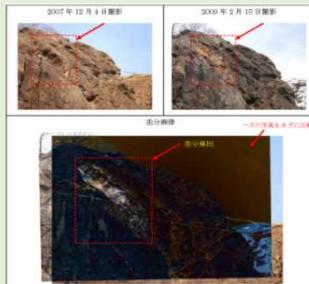
主催: 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 後援: 国土交通省北陸地方整備局

# 講演プログラム・技術紹介

- 13:15～ 開会挨拶**  
土木研究所 技術推進本部 寒地技術普及推進監 正木 孝治
- 13:20～ 写真計測技術を活用した斜面点検手法**  
防災地質チーム 総括主任研究員 日外 勝仁
- 13:45～ 施工性と安全性に優れた切土のり面の凍上対策（ワンパック断熱フトン簀）**  
寒地地盤チーム 研究員 御厩 敷公平
- 14:10～ 酸性硫酸塩土壌の簡易判定法**  
資源保全チーム 主任研究員 中谷 壮範
- 14:35～ 質疑応答**
- 休 憩 （10分）**
- 15:00～ 除雪オペレータ用道路付属物位置情報提供アプリ**  
寒地機械技術チーム 研究員 山田 充
- 15:25～ 景観検討にどう取り組むか－景観予測・評価の手順と手法－**  
地域景観チーム 上席研究員 福島 宏文
- 15:50～ コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル 2022年版**  
耐寒材料チーム 主任研究員 遠藤 裕丈
- 16:15～ 質疑応答**

## 写真計測技術を活用した斜面点検手法

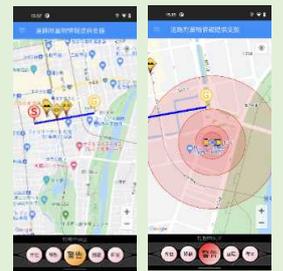
異なる時期に撮影した写真を重ね合わせることで変化点を抽出する「背景差分法」と、航空写真測量技術を地上写真に応用した「変動量計測法」の2つの斜面点検手法に関する技術です。対象斜面に立ち入らずに点検が可能となることや従来の技術者の目視判定に比べ斜面点検技術の効率化が図れます。



背景差分法の事例

## 除雪オペレータ用道路付属物位置情報提供アプリ

積雪で埋もれて見えない道路付属物と除雪車の接触事故を防止するための情報提供アプリです。車載機器はスマートフォン（Android）のみで、あらかじめ位置情報を登録している道路付属物に除雪車が近接すると警報音と画面点滅等でオペレータに知らせることができます。



情報提供アプリ運用例

## 施工性と安全性に優れた切土のり面の凍上対策（ワンパック断熱フトン簀）

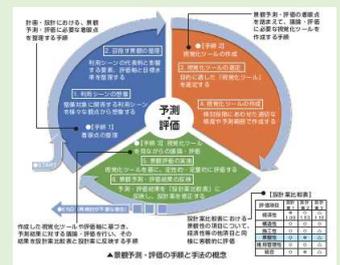
特殊フトン簀に断熱材を内包し、クレーンで吊り上げ可能なワンパック断熱フトンを開発しました。従来工法よりも経年的な変状の抑制や切土のり面の凍上、高所・斜面での施工効率や安全性の向上が期待できます。



ワンパック断熱フトン簀施工例

## 景観検討にどう取り組むか－景観予測・評価の手順と手法－

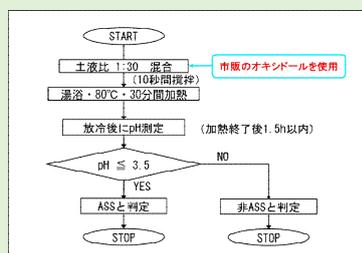
景観検討は、構造物や周囲景観の議論・評価を行い、その結果を設計への反映が重要ですが、景観検討の知見や経験が十分でない技術者には難しい面があります。そこで、景観検討がより良いものに近づけるよう、そのポイントを示した技術資料を取りまとめました。



手順と手法の概念図

## 酸性硫酸塩土壌の簡易判定法

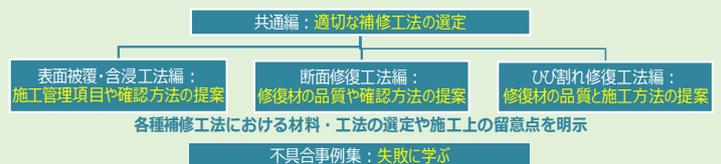
酸性硫酸塩土壌が分布している地域での工事現場において、短時間で酸性硫酸塩土壌か否かを簡易判定する技術です。工事現場にて簡易かつ速やかに判定することが可能であり、工事工程への影響を軽減することが期待できます。



簡易判定法のフロー図

## コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル 2022年版

内容の充実と新たな知見等を加えて改訂した2022年版を作成しました。マニュアルは、共通編、各補修工法編、および補修後の不具合事例集で構成され、2022年版ではシラン系表面含浸材と断面修復工法の新たな知見等を追加しています。



マニュアルの構成